

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名	避難困難地域対策事業		担当部署	企画総務部 危機管理局 危機管理課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市津波避難計画(平成26年3月)	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始	平成 25 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なんと		終期	~平成28年度
(小項目)					
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進			
基本事業	3	防災施設・資機材等の整備			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 津波避難困難地域住民														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	地域の緊急避難場所として津波避難施設を設置し、津波発生時に安全かつ迅速に避難することにより、津波から命を守る。														
事業計画	27年度に何を計画していたか	<ul style="list-style-type: none"> ●家屋調査業務 施設の杭基礎を行う際、周辺家屋に影響を与える可能性があるため、事前に家屋調査を行う。 ●施設建設に伴う解体撤去 鳴南体育館及び里浦保育所の解体撤去 ●本体新築工事着工 														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>津波避難施設整備</td> <td>基本・実施設計業務の発注</td> <td>工事の発注</td> <td>工事の完成</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位	津波避難施設整備	基本・実施設計業務の発注	工事の発注	工事の完成			
指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位										
津波避難施設整備	基本・実施設計業務の発注	工事の発注	工事の完成													

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	里浦町南部地区津波避難複合施設の新築工事(建築、管、電気)の工事請負契約を締結し、現地工事に着手した。工事施工にあたっては現地説明会を開催し、円滑に工事が実施されるよう調整を図った。					
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	地元関係団体等との協議	○	○	○		
	2	調査・設計	○	○	-	-	
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	津波避難施設整備		基本・実施設計業務の発注	本体工事着手	-	-	
	目標達成率(実績/目標)			-	-	-	-
今年度の進捗状況	未達成		事業全体の進捗状況		計画どおり		

(千円)

財源内訳	平成27年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		0	0	0	0	24,500	24,500
		全体予算額		94,900	5,000	77,700	0	39,950	217,550
		決算額		12,927	0	21,300	0	22,690	56,917
		繰越額		81,973	5,000	61,600	0	3,977	152,550
	人件費		正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)	総人件費		総事業費		
		0.2	0.0	1,372		58,289			

【事務事業名：避難困難地域対策事業】

(千円)

事業費推移	年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費	6,200	56,917	163,867		
	うち一般財源	0	22,690	16,594		
	人件費	1,376	1,372	1,372		
	総事業費	7,576	58,289	165,239		

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		新築工事について現地着工がなされた。
	効率性	A:効率的だった		地元説明会を適宜開催し、意見を得たものについて可能な限り設計に反映させることができた。
②成果に対する評価	指標名	津波避難施設整備		工事発注担当課とも綿密な打ち合わせにより、円滑に工事発注がなされた。
	目標	工事の発注	1式	
	実績	基本・実施設計業務の発注	1式	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		事業スケジュール通り工事に着手できたためA評価としたい。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	当施設の完成により、避難困難地域については、一定解消されるものの、H27年度の総務省行政評価支局の南海トラフ対策実態調査において、本市が設定する避難可能距離(2,500m)は、県内他市に比して相当長い設定状況となっている。また、「津波避難計画」においては、避難距離500m～2,500mを「準避難困難地域」としており、今後も引き続きそれらの地域における対応の方針を検討する必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	H28年中に複合施設の新築工事が完成し、引き続き敷地内の旧施設の解体、および困窮、外構整備についてH28年度内に完了させる。			
	平成29年度	避難距離が500m～2,500mの地域における対応の方針を検討する。			